

【家庭教育支援チーム】

(1) 活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	平生町家庭教育支援チーム (呼称: ひらおカンガルー応援隊)
②活動拠点	平生町立平生小学校、平生町立佐賀小学校 (令和2年度より活動中) 平生町立平生中学校 (令和3年度より活動開始予定)
③活動範囲	同上 (平生町立平生中学校区)
④組織体制	<u>6</u> 人 家庭教育アドバイザー養成講座修了者6人 (平生小学校学校運営協議会長、平生小学校担当地域コーディネーター兼務…1人、地域学校協働活動推進員、佐賀小学校・平生中学校担当地域コーディネーター、佐賀小学校学校運営協議会委員兼務…1人、民生委員児童委員、平生幼稚園担当地域コーディネーター、平生小学校学校運営協議会委員兼務…1人、母子保健推進協議会委員…1人、その他…2人)
⑤活動開始年度	令和2年度(2020年度) (令和元年度より立ち上げ準備開始)
⑥問合せ先	平生町教育委員会社会教育課 (TEL) 0820-56-6083 (FAX) 0820-56-7151 (E-mail) kyouiku2@town.hirao.lg.jp

(2) 活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施 (※中学生は令和3年度から活動対象予定)

③活動内容

【登校支援】

児童の自立した登校をめざした登校支援を通して、対象児童の保護者との信頼を積み重ね、児童に関する話から子育ての悩みの相談につなげていくことで、保護者を支援する活動。

【参観日・懇談会・就学時健康診断時等におけるおしゃべり広場】

学校に保護者が集まる機会を利用し、保護者同士がお茶やコーヒーを飲みながら、気軽に子育てについておしゃべりできる場を提供することで、保護者同士の横のつながりづくりや子育てによるストレスの軽減につなげていく活動。

【子育ての悩みの個別相談】

相談を希望する保護者を対象に、平生小学校のカンガルーポケット(相談室)にて、保護者の子育ての悩みやストレスの軽減につながる相談活動。

【講演会等での託児】

講演会等で託児室を開設することで、小さい子どもをもつ保護者が安心して学びの場に参加できるよう支援する活動。

【子育て講座の開催】

子育てに関するワークショップ形式の講演会等を開催することによる、保護者の学びの場を提供する活動。

【中学校における子育て広場】

乳幼児をもつ保護者の子育ての悩みやストレスの軽減と中学生の自己有用感を高めることを目的に、中学校のコミュニティルームを活用して、乳幼児と中学生のふれあいの場を設定し、その後、保健師、母推、チーム員と保護者で子育てについて相談する場を提供する活動。

【小学1年生家庭訪問への同行】

保護者に「ひらおカンガルー応援隊(以下:応援隊)」の周知やチーム員と保護者の顔つなぎを目的として、小学1年生の家庭訪問に同行(全戸)する活動。

【広報紙「カンガルーレター」の作成・配布】

応援隊の活動状況や子育てに関する情報や学びの場の情報等を掲載した広報紙「カンガルーレター」を作成し、保護者へ配布する活動。

【カンガルーチーム会議】

毎月第3火曜日9:00~11:00定期的にチーム会議を開催し、活動状況の確認と振り返り、今後の活動の計画、立案、準備等の打合せ、学校との情報共有等を実施。

④活動の成果
(活動実績がある
場合)

【昨年度の準備期間中に実施した活動】

・就学時健康診断時におけるおしゃべり広場

佐賀小学校4人(来校者4人)、平生小学校49人(来校者68人)が参加した。就学時健康診断の待ち時間にお茶やコーヒーを飲みながら、保護者同士で子育てに関する話題を共有した。

子育てアンケートも実施し、子育てに対する悩みや不安を抱えている保護者が全体で約31%(佐賀小25%、平生小31%)いることや、「いじめが心配」、「大人数の中でやっていけるか心配」といった具体的な心配事など保護者の実態をつかむことができた。広場の開催により、応援隊の活動が多くの保護者に周知され、大変効果のある活動となった。

・講演会における託児

町 PTA 連絡協議会研修会の講演において、託児希望があり、学校の要請を受けて、託児室を開設した。チーム員3名で、7名の未就学児(6家庭)を預かり対応した。研修会に参加した保護者は安心して講演を聴くことができ、引き渡しの際にはチーム員に笑顔で感謝を述べ、大変満足された様子であった。

・小学校の入学説明会時におけるチーム紹介

保護者と対面しての自己紹介及び活動内容の紹介を行い、新年度からの活動開始に向けて認知度を高めることができた。

【今年度の活動】

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、上記活動が様々な面で制限され、予定通りに活動が実施できていない。ただし、このようなコロナ禍にあり、逆に応援隊の支援が必要となったケースも生まれた。

【新型コロナウイルス感染防止の観点から中止、または実施を見合わせている活動】

《中止》託児・子育て広場・1年生家庭訪問への同行

〈見合わせ〉おしゃべり広場・子育て講座

※ おしゃべり広場と子育て講座については、今後の感染状況を見て、感染防止策が講じることができれば、実施する可能性あり。

【コロナ禍の下で実施した活動】

・マスク用ハンカチの作成

新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されていた年度ははじめ、マスク不足から新年度スタート時にマスクを用意できない児童が出てくるのが予想されたため、町教育委員会の要請をうけ、応援隊が中心となって、学校支援ボランティアにも協力を呼びかけ、総勢16人でマスクに活用できるハンカチ150枚を作成し、町内各小中学校へ配布した。これにより、マスクを用意できなかった児童に配ることができ、保護者支援につなげることができた。

	<p>・<u>臨時休業中の分散登校における登校見守りや1年生の下校支援</u></p> <p>臨時休業中、平生小学校では学年別の分散登校を実施した。学校の要請を受け、応援隊が町職員と見守り隊と協力して、町内各交差点で見守りを実施した。また、1年生は通学路に慣れていないことから、応援隊が下校支援を実施した。これにより、迎えに来ていた1年生保護者とあいさつや会話をすることで、保護者の安心感や信頼感を高めることができた。</p> <p>・<u>小学1年生の給食支援</u></p> <p>小学1年生の給食開始時には例年6年生が支援に入っていたが、新型コロナウイルス感染防止のため、児童同士の関わる活動ができないことから、学校の要請を受け、応援隊が給食時間に8日間入り、児童の給食準備の支援を行った。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名: 学校を核とした地域力強化プラン)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()</p>